

年間テーマ：『共有・共感・共振・共鳴』～成長はみんなのために～

### 40周年記念誌発行から今日まで

始まりは出版社タウンニュース社から編集・校正まで担う費用は120万かかり承知下さいとの事からでした。役割を担って頂くコラム評論、エッセイなどの執筆者はコラムニストと聞かされて記念誌の縁の下の力持ち役は簡潔で判りやく構成する役割と漠然と理解してましたがそれ程の費用が提示されると思わずチョット待って下さいと答え、もったいない気持ちで私の創業とこれまでを書きましようという節約のつもりで答えたのがきっかけとなり通算7カ月にもなり発行の遅れとなりました。作業は投げ出したくなる程の場面が何回もありましたが、私の出来る文の事と割り切り社内版として発行する限り、ご覧になる皆さんが判りやすく、これまでを思い浮かべながら、題材は18才から始めた60冊の日記が中心となりました。

段ボール3つある中からホコリと変色した日記を取り出し順番に並べ、それから構成、タイトルまでスマホ・パソコンで漢字や言葉、四文字熟語等々めぐりながら、それは難行となりました。タイトル、文章内容、私の想う会社づくり等、初めての事なので困難を極め挫折しそうな時もありました。

引き受けたからには貫徹を、私の本分が問われる時だと強く意識した7カ月でした。あれから、そして発行から7カ月が過ぎ意外な出来事がありました。お客様3社から社員教育に活用したく3、4冊譲って欲しいとの連絡でした。いや、記念誌、社員向けのものでずからと返答しましたが、断り切れずお届けしました。先方三社役員、社長より

**旺盛な競争力を発揮しよう**

と呼び掛けた私のメッセージに共感され「異口同音」の評価をいただきました。想いは人に共振すると嬉しく受け止めました。記念誌は希望された社員の皆さまにお届けしてまいりましたが、もし希望があればお申し出下さい。早期に勤務先、ご自宅にお届け致します。さて、年末となり、体調に気付かないながらお過ごし下さい。予防接種はもちろん、しっかり運動と体力を付けてお過ごしされますようお願いいたします。

いつもいつも「苦労様です。そしてありがとうございます。」

取締役会長 川口 健治

### みかんのよう生きる



これからの季節、みかんが美味しくなりますね。今回はみかんから学ぶ大切な教訓についてお話ししたいと思います。

みかんと言えば当社の川口会長の故郷の愛媛県と連想される方も多くいらつしやるのではないのでしょうか。また、古い話になりますが、金八先生の「腐ったみかんの方程式」も有名で、「あちこちぶつかっていれば、そりやどこか腐ってくる。だが私達はみかんを作っているのではない。人間を作っているのだ。人間の精神が腐るといことは絶対にない」と名言を残されております。そんなみかんですが、みかんには面白い特性があります。外部から刺激を与えると甘くなるのです。

例えば収穫前に枝を揺らしたり、樹皮に傷をつけたりするとみかんは危機を感じ生存本能から糖度を上げると言われています。つまり、みかんは逆境を甘さに変える能力を持っているのです。この「みかんの知恵」は私達の仕事や人生にも当てはまると感じませんか。困難や課題に直面した時、それを成長の機会と捉えることが出来れば、私達も「甘く」なれるのです。例えば新しいプロジェクトや難しい業務に挑戦することは、まさに、外部からの刺激です。最初は戸惑いや不安を感じるかもしれませんが、しかし、その経験を通じて新しいスキルを身につけ視野を広げることが出来ます。また、お客様からのクレームもサービス改善のチャンスです。一見ネガティブな出来事も前向きに受け止めれば、私達の「糖度」を上げる機会になるのです。チーム内の意見の相違も同様です。異なる視点をぶつけ合うことで、より良いアイデアが生まれ革新的な解決策が見つかるかもしれません。このように外部からの刺激を恐れずむしろ歓迎する姿勢が大切だと思います。今年も残すところ一カ月となりましたが、今日からでも困難に直面した時は、「これは自分を甘くする機会だ！」と考えて今年を締めくくってみるのもありだと思います。みかんのように逆境を糧に成長し、より「甘い」つまり価値のある人材になろうと全力で取り組んでいけば、今までは違う自分を発見できると信じて頑張っていきたいです。

SS事業部 泉 裕一郎

## 夜のウォーキングと銭湯

もうかれこれ5年は経つだろうか？健康増進のために帰宅後19時頃から週に1、2回ウォーキングし銭湯に行く習慣がついています。

自宅がある横浜市神奈川区富家町から徒歩30分圏内には4か所の銭湯があります。(他2箇所は廃業)天然温泉の鷺の湯(徒歩20分)、日々変わる薬湯が楽しめる親松の湯(徒歩15分)、44度のヒノキ風呂がある反町浴場(徒歩20分)、一番近い徒歩5分の徳の湯。徳の湯は土曜日が朝9時から営業するのでたまに行きます。朝風呂は最高ですね。銭湯画を見ながら湯船につかり、じいじと黙浴、土地柄か北斎の神奈川沖波裏が徳の湯にあり風情を感じます。そして脱衣場で飲む瓶の牛乳。入浴料530円で味わえる最高の気分転換(もちろん、サウナもお勧めですね。)

親松の湯(昭和4年)  
神奈川区六角橋



事業開発子ム松田有司

## 第39回 社内木鶏会



命をみつめて生きる

今回の「命をみつめて生きる」がテーマです。表紙「頑張らない」の本で著名な鎌田實先生です。医者として沢山の患者さんに接して感じるのは家族である医者であれ、やはり共に歩んでくれるのは家族である。一緒に歩んでくれる人が身近にいたことがガン告知後の辛さを乗り越えていく一番の力になります。病氣時だけでなく悩み苦しんでいる時は側に寄り添ってくれる人がいると心強いものです。とは言え、先日の報道で一人世帯が20年で38%にもなり、少子高齢化により更に加速するようです。昔のような大家族が減り家族のカチが変わり何かと難しい現代ですが、改めて命・幸せ・生きる意味をみつめてみるのも大切と感じます

## 年末調整のお知らせ

そろそろ年末が近くなり、今年も年末調整の時期が近づいてまいりました。今月の給与明細と一緒に年末調整用紙を同封しております。記入の注意点は、今年のみ”本人定額減税対象”欄があることです。このチェック有無によっては、その後の役所の処理に影響するので、対象者は必ずチェックを入れて下さい。また、そもそも年末調整を行うのか、確定申告をするのか解らない場合がありますので、一枚目のチェックシートは必ず提出して下さい。未提出の方は確定申告として処理しますので「注意下さい。また、事前に必要書類を確認の上、保険料控除証明書・前職源泉徴収票など不足している資料は早めに取り寄せの上、提出期限厳守でお願い致します。

管理事業部 齋藤

無災害記録639日(11月20日現在)

11月に誕生日を迎えられた皆様です

お誕生日おめでとうございませう。素敵な誕生日をお迎えください。

## ◇編集後記

木枯らしも吹き益々朝晩の出勤時間は寒くなってきました。間もなく師走を迎え何かと忙しい時期に入りますが、健康管理にはくれぐれもご自愛されてお過ごしください。日々、心穏やかに時には良き仲間と語り、食事を共にする機会を大切に。